

『一生懸命』幻の新座市議会報告第171弾!



たかむらともや

③ なんてこった!!

3月議会が終わりました。31年度の一般会計予算に僕と木村俊彦の「市民と語る会」は反対しました。

市長は子育て世代を新座市に呼びたいと言っています。それならば、まず待機児童を無くすことに力を入れるべきなのに、3月1日現在の待機児童数は467人もいます。保育園に確実に入れるとなれば、子育て世代も安心して新座市に来るでしょう。そうすれば税収も上がる筈です。子育て世代を狙うのなら小中学校の学力アップも必要ですが、現在の学力検査の結果は朝霞4市では断トツの最下位です。

その為にも教職員から駐車料金を取るという施策はやめなければいけません。小中学校の先生達は県の職員なのです。他の市は駐車料金など徴収していないのですから、新座市を希望しない先生が多いのも納得できます。(希望0という話も)

「財政難」を理由に小中学校の教職員から年間864万の駐車料金を徴収しておきながら、市長車と議長・教育長車の2台の公用車には1650万もの税金を使うのでは市民は納得しないでしょう。

小中学校の先生達は超多忙です。しかも、先生達には「超過勤務手当」がありません。朝から晩まで頑張っているのに、新座市だけ駐車料金徴収ではやる気もなくなります。財政調整基金が3億しかなく、30万平米もある借地の買い取りには30億かかると「財政難」を強調していますが、それならば5億の地下鉄基金は直ぐに取り崩すべきです。地下鉄12号線が来る見込みは全くないので……。

障がい者の雇用をカットし、在宅介護のおむつ代の助成までカットしておきながら、スマートインターチェンジの調査には497万。大和田二三丁目と新座駅北口の区画整理事業には今年度だけで8億円以上の繰り出しをするのだから、本当に酷い予算なのです。

教育・福祉予算を削り、大型の区画整理事業などにはみなさんの税金を使いまくろうとする予算です。

この「なんてこった予算」に賛成したのは、政和会・平成クラブ・公明党。反対したのは市民と語る会・共産党で予算は可決されてしまいました。

2019年3月31日発行



新座ローンのテニス仲間です。みな同世代なのですが、みんな笑顔が素敵で、テニスは僕より強いのです。そんな先輩達と出会えた僕は幸せです。③

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。

新宿区百人町では有名な超悪ガキで成績も超悪かった。

そんな悪ガキだったが、弱い者苛めだけはしたことがない。

小学校1年生から高校3年まで「先生」に恵まれ、大学まで行くことができたのも先生達のお陰。

大学3年の冬、突然「教師」を目指し、「教職」以外の勉強はせず、卒論も出さずに北大を卒業。昭和52年4月、新設校の新座五中に赴任する。

五中・六中・二中で21年間担任を続け、年間240号以上の「一生懸命」という学級通信を書き続ける。その続編がこの「一生懸命」である。

木村俊彦と「市民と語る会」を結成。教育問題を中心に「PTA問題」「道路問題」「ワクチン問題」「町内会の補助金問題」などに取り組んでいる。

現在、石神3丁目の「たかやん塾」で中高生達と「個別対応」「集団対応」の塾をやりながら、月に一度の黒目川の川掃除と7か所での駅立ちに燃えている。写真は石神井高校の1年先輩の恒郎さん。

強すぎて、まだ1度しか勝ったことがありません。③

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 心に残った本2



「一切なりゆき」は心温まる本でした。自分の心のアンテナに引っかかる言葉が数多くありました。

例えば”私は職人という言葉が好きなんです”
”子どもは飾りの材料にしない方がいい”この言葉などはピンとききました。教師は職人だと思っている子ども達を自分の飾りの為に育ててはいけないと思うのも同じです。

そして、「児童相談所が子供を殺す」には心が凍りそうになりました。「児童相談所」が虐待を見逃す仕組みが分かったからです。学校の先生は勿論、子ども達に係っている人達には是非読んで欲しい本です。

③ 最近読んだ本3



「大学入試のトリセツ」は全ての中学生、高校生と先生達に読んで欲しい本です。大学に行く意味は勿論、新しい勉強法も教えてくれる本です。

「日本が売られる」を読むと、今の安倍政権がいかに酷いことをしようとしているかが分かります。イメージで「自民党を支持している人達」に是非読んで欲しい本です。この本を読んだら、絶対に自民党を支持することはなくなるでしょう。お勧めです。

③ 一般質問

今回の一般質問では「保谷・朝霞線」「ワクチン」「小中学校の教職員の駐車料金」「学力向上」「PTA」「児童虐待」「中学生の通学バッグ」の7点を取り上げました。その内容は「新座市議会インターネット中継」で見ることができます。全ての議員の発言を見ることができますので、是非一度見てください。今回の質問で、全然納得できなかったのは「保谷・朝霞線」「ワクチン」「PTA」「学力向上」「小中学校の教職員の駐車料金」の5つでした。納得できないことは、「広報の全戸配布」のように、何度でも質問し続けていきたいと思っています。

③ 違和感

来月から「令和」になります。4月1日の僕の記事にはこう書いてあります。”この選挙の真っ最中に、あの会見はないだろう。「元号を決められる程、俺は偉い」そう言いたいのだろうが、元号(皇室)を選挙に利用しているとしか思えない。国民に寄り添ってきた「天皇」と国民を裏切ってきた「総理大臣」。二人の生き方は余りにも対比的である。”

「令和」という元号に対する違和感よりも、あの発表の仕方に違和感がありました。統一地方選の最中に、いかにも自分たちが決めたんだという奢りを感じた人も多かったでしょう。「令和」が”命令の和”や”平和0”にならないようにしなくては……。



右から、娘ころが高校でお世話になった丸山先生。そして左に紹介した「大学入試のトリセツ」を書いた、「のすけ」こと、田中研之輔法政大教授、ところです。六中のテニスコート脇で鼻を垂らしていたころが、「都市対抗の代表」にまでなったのは丸ちゃんのお陰です。そして、「のすけ」と引き合わせてくれた娘のころに、感謝、感謝です。③

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m